

高知県盲ろう者友の会通信

～やさしさは手から手へ～

〒781-5106 高知市介良乙 1155-9

会長 高橋 万里



第27回 全国盲ろう者大会の報告

高橋 万里(弱視ろう)

8月31日(金)～9月2日(日)の3日間、千葉市の幕張メッセで全国盲ろう者大会が開催されました。参加者は、891人、そのうち盲ろう者は247人で、高知からの参加は盲ろう者3人、盲ろう者以外は6人でした。昨年までは、全国盲ろう者協会主催で、全国6ブロック持ち回りの開催となっていました。今年、連絡協議会が中心になっての企画運営方式の開催になりました。開閉会式、パーティー、分科会の司会などすべての企画を全国の盲ろう当事者や団体が担当しました。盲ろうの仲間同士が一堂に集まる、年に一度の祭典は、とても大切な行事であると改めて思いました。千人近い参加者と交流し、大変盛り上がり楽しく素晴らしい三日間でした。



私も分科会の「盲ろう者の就労」の司会・進行の役目を担当させていただきました。

うまく責任を果たせるかと、大変不安でしたがサポーターをはじめ、周囲の方々に助けられ、無事に終えることができました。会場には就労について興味を持った方がたくさん参加してくださって意見発表や情報交換で盛り上がりました。

反響のあったことは大変嬉しかったです。

大会中、思いがけなく指点字を考案した、盲ろう者、東京大学教授の福島智氏のお母様にお目にかかりました。

私の指に、点字を打ってくださった、お母様の優しく温かい雰囲気感激し、励まされ、私にとっては忘れられない思い出になりました。

来年は8月23日～25日の3日間、名古屋市の国際会議場で開催されます。皆さん！是非一緒しましょう！



～2日目 観光コースで横浜を満喫しました～ 松沢 稀弓(全盲難聴)

東京湾アクアラインの海ほたるを經由して、カップヌードルミュージアムに行きました。そこで、マイカップヌードルづくりを体験してきました。

- ① まずはカップに色を塗り自由にパッケージを作ります。
- ② そのカップに麺をセットして4種のスープから1つ選びます。
- ③ 12種類のトッピングから4つを選んでカップに入れれば…

はい！ オリジナルカップヌードルの完成！ とても楽しい観光でした。

作ったカップラーメンは、もったいなくて、まだ食べていません(笑)



通訳・介助員養成研修が開催されました

9月9日から全7回にわたり、盲ろう者向け通訳・介助員養成研修が行われました。



初日は、雨が降る中、開講式が行われ、引き続き、盲ろう理解の講義や疑似体験などで学習が始まりました。高知声と点字の図書館の職員さんから視覚障害について教えていただき、聴覚障害については、ろう学校の先生から聴こえについて詳しい説明などお聞きしました。

2回目以降は、盲ろう者のコミュニケーションとして、手話や指文字、手書きや筆記、また、音声や点字、指点字について学びながら、盲ろう者役、通訳・介助役を決め実際にオーテピア館内や周辺に出て、演習や実習を行いました。

オーテピアの南側を、通訳介助の演習



自動販売機で飲み物を買うという高度なミッション！



板垣さんを講師に迎え楽しい講義



4グループに分かれ混雑する日曜市で演習



盲ろう者の方々に協力していただき通訳・介助の実習



盲ろう者向け通訳・介助員養成研修受講者の皆さま、2か月間に渡る研修お疲れ様でした。次回は、交流会や通訳・介助の現場でお会いできる日を、スタッフ一同 楽しみにしております。

東京盲ろう者友の会 理事長 藤鹿一之氏 ご来高

9月30日に開催予定だった、第2回目 現任研修は台風で中止となりましたが、盲ろう者向け通訳・介助員養成研修は開催され、講師にお招きしていた藤鹿さんも、悪天候のなか高知へお越しくださいました。講義や実習の様子をご報告いたします。

台風接近のため、オーテピアも閉館となる中、会場を高知会館に移し、9:00～正午まで養成研修が行われました。

藤鹿さんは、「通訳介助者に望むこと」として、ユーモアを交えながら、とてもわかりやすくお話ししてくださいました。

通訳・介助者として同行してこられた板垣さんの指点字は本当に素晴らしかったです。なかなか見ることができない指点字コミュニケーションに感動しました。



藤鹿さんは、一口に盲ろう者と言っても百人百様で、障害の様子、取り巻く環境、通訳・介助の受け方も一人一人違うとおっしゃっていました。だから、一人一人、その場の状況に合わせたサポートが必要なのだそうです。そして「雑談はとても大切」というお話に続きます。どうして大切かという、そのリラックスした会話の中に、盲ろう者の見え方、聞こえ方、好みや趣味など、色々なことが含まれているからです。盲ろう者を知ることが、よりよい通訳・介助につながっているのですね。受講者のみなさんも真剣な面持ちで、藤鹿さんと指点字交流し、貴重な体験をされていました。



参加された皆さま おつかれさまでした。藤鹿さん、板垣さんありがとうございました。



藤鹿さんと 松沢副会長のおしゃべりタイム 指点字で何を話されていたのでしょうか



〈枠内の写真撮影:細木さん〉

のいち ひよこサークル合同 交流会 開催

10月6日(土) 午後2時～4時までの2時間
のいちふれあいセンターでひよこサークルの皆さんと
合同の交流会が開催されました。

参加者は、28人(内 盲ろう者2人)で、今年度の
盲ろう者向け通訳・介助員養成研修の受講者の
皆さんも参加してくださいました。

高橋会長の挨拶のあと、ひよこサークルのみなさんは
建物1階の玄関入口にある自動販売機で、飲み物を
購入するという盲ろう体験をしました。



アイマスクをして、見えない状態の人と
ペアになり、通訳・介助者役の人と一緒に、
欲しい飲み物を買うという体験です。
「どうすればいいの？」
「うまく伝わらない・・・」
そんな悲鳴のような声が聞こえる中、
ジュースが買えなかった人、希望通りの
商品が買えたペアなど色々でした。



アイマスク体験で「マスクをつけたら、距離感がなくなった」と、感想をくださった方もいました。
「体験」は、当事者の抱える不安や不便さなど、理解につながる「経験」になることもありますね。

後半は、高橋会長と松沢副会長から 日常生活にまつわるお話をお聞きました



「は～い みなさ～ん。このグッズ何かわかりますか？」

これは、松沢副会長からの質問です。

すると、「それはマイクでしょ？」と答えてくれた人がいました。

松沢副会長は、にっこり笑って「それじゃ、歌ってみてください」と、そのグッズを手渡します。

「あれ？あれれ？マイクじゃないぞ・・・」残念！それは、色を教えてくれるマイク型グッズ「色キャッチペン」でした(笑)
他にもいろんな便利グッズを紹介してくださいました。

高橋会長からは、普段工夫していることのお話です

財布の中は、お金を入れる場所を必ず決めていて、最近はお金をチャージして使えるカードを持たれているそうです。

レジにたくさん人が並んだ時などは、会計を早く済ませることができ、便利だとおっしゃっていました。

それから、お料理をするとき、包丁を使う場合は、手元を見ないで材料を切るそうです。すごいですねえ。

お化粧術の話も少し・・・。視覚障害者の方が行うブラインドメイクではなく、パウダーファンデーションを使い、口紅は小指でつけられるそうです。実践しながら、その様子を披露していただき、会場内から「わあ！」という声があがりました。



ひよこサークルの皆さまから、たくさんのご感想をいただきました。



ありがとうございました



体験・交流の時間をもう少し長くしてほしい

体験後、自販機を必要以上に触ってます

盲ろう者とペアで体験してみたい

飲み物の種類の説明が難しかった

盲ろう者友の会の活動内容が分かってよかった

これからも色々体験していきたい

楽しかったというより勉強になった

自販機に点字表示があれば、買いやすい。更に、ボタンを押すと音声で知らせてくれる自販機がないのか企業に質問してみようと思う。

自宅で部屋を暗くして(アイマスク体験)歩く練習をしてみたら、自分の家なのにぶつかったりした。こういう体験もしてみたい。

松沢さんのレジでのお話を聞いて「迷惑をかけないように、気遣ってる」という思いが心にささりました。我々、健常者の方が、気遣いができていないように思いました。

照明のスイッチや普段の生活の中の不便さに気づかされました。様々なグッズやメールやスマホ機能を活用して生活されていることも知りました。交流を続けることで盲ろうの方の生活がすこしずつイメージできています。大会DVDを見て、より盲ろう者のことを知りたくなりました。当事者の子育てや盲ろう児を育てた家族の講演も聞いてみたくくなりました。

見えないという状態が分からない見えなくても聞こえる場合は色々できると思うが、盲ろうの場合は何もわからないのでは？



自分は聞こえないが、見えるので色々楽しめる



盲ろう者は、食事の時、見て分からないので匂いで分かるのでしょうか？



松沢さんの便利グッズを初めてみて興味深かった

松沢さんの紹介してくれた品物が良かった どこで買えるの？小銭の財布は、私たちにとっても便利だと思うので持ちたい

イエローシート交流会

11月11日(日)イオン高知でランチ交流会をしました。ランチのあとは、1階のスーパー入口付近に立って「イエローシート投函」のご協力をお願いしました。盲ろう者友の会を応援して下さる多くの皆さまのご厚意によりたくさんの助成をいただくことができています。本当にありがとうございます。今年度も、お送りしている通信紙をはじめ、事務用品や消耗品などを購入させていただきました。今後とも、毎月11日開催の「イオン・デー」に、イオン高知へ行かれることがございましたらご協力のほど、何卒よろしく願いいたします。



第24回 中・四国盲ろう者大会開催

11月17日(土)～18日(日)の2日間、香川県宇多津町で中・四国盲ろう者大会が開催されました。大会の様子は、次号に掲載する予定です。

～企画部より～ 2019年1月 学習&新年会のお知らせ～

日時:2019年1月27日(日)

14:00～17:00 学習会 指点字、触手話

下知コミュニティセンター4階

18:00～20:30 新年会 高知フインズホテル



平成30年度 第3回目 現任研修のご案内

日時:2019年2月24日(日) 10:00～12:00

バリアフリー上映 映画「盲ろうを生きる」

場所:オーテピア 4階ホール



オーテピア会場へお越しの際は公共交通機関をご利用ください。

また、自家用車でお越しの方は、近隣の有料駐車場をご利用ください。



◆◆情報・投稿コーナー◆◆

高知県もタンDEM自転車解禁です!

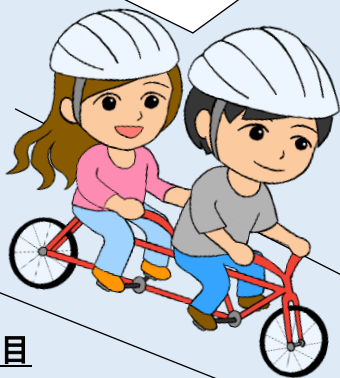
県道路交通法

施行細則の改正で

高知県内の

公道を走れるように

なりました。



全国では21府県目

四国では愛媛に次いで2県目です

タンDEMは、二人乗り自転車です。

香南市夜須町の「市サイクリングターミナル」には

タンDEMが7台あるそうです。個人購入するには

10万円以上もする まだまだ高価な物...

だから、お天気の良い日はレンタルして海沿いを

サイクリングするのも気持ちいいかもしれませんね。

出展元:高知新聞オンライン 2018年10月7日(日)

<https://www.kochinews.co.jp/article/212076/>

～土居純子さんの今季新作コレクションのご紹介～
ペットボトルのキャップを利用して作る素敵な帽子



どう?
似合うかしら...

2018 秋冬新作コレクション



2018 夏コレクション



全国盲ろう者大会 おまけ写真集



参加者 約 900 人を収容した開会式の会場です



「ヘルプカード」を高知から千葉までつけて行きました。気付いてくれる人はまだ誰もいません。全国的に広がって温かい支援の輪も広がればいいなと思います。



「千葉日報オンライン」に掲載されました。全国大会で、高橋会長が担当された「就労」がテーマの分科会記事です。障害者雇用の水増し問題で、注目度の高さがうかがえます。

9月2日

障害者就労「支援を」 水増し問題、批判も

千葉市で全国盲ろう者大会

9/2(日) 10:40 配信

千葉日報



盲ろう者として就労の苦労を語った(左から)今本さん、高橋さん、大杉さん。1日、千葉市美浜区の専修メッセ

中央省庁や自治体などで障害者雇用数の水増しが問題となる中、千葉市美浜区の専修メッセで開催中の「全国盲ろう者大会」で1日、盲ろう者の就労をテーマに分科会が開かれた。パナリストとして盲ろう者が登壇。「職業訓練を受けるのも大変」と厳しい現状を訴え、社会や企業で盲ろう者の就労への理解が深まり、雇用が増えるよう求めた。また、会場では次々と明らかとなる水増し問題を批判する声も聞かれた。

同日の大会には盲ろう者や介助者約850人が出席。就労やスポーツなど五つのテーマで分科会が開かれた。就労の分科会には、盲ろう者3人が登壇。広島盲ろう者友の会の大杉勝則理事長(56)は「最も不便だと感じるのは通勤」とし、各都道府県の通訳や介助の制度では「買い物や出掛ける際のサポートは受けられるが、通勤には適用されない」と指摘。通勤で介助を求める場合は自費という。「障害者が働きやすくなるためには行政や企業のサポートがもっと必要」と呼び掛けた。

鳥取盲ろう者友の会の今本由紀副会長(46)は、事務仕事に就こうと受講した「障害者向けパソコン教室」での自身の苦労話を披露。盲ろう者は今本さんだけで、ノートを取るために多くの受講者に助けてほしい、自費で個人レッスンも受けて、ようやく技能取得にこぎ着けたという。「盲ろう者向け職業訓練の機会を得ることさえ難しい」と厳しい現状を訴えた。

東京盲ろう者友の会の峰岸夏美さん(55)は民間企業に障害者として雇用されていたが、「視力が徐々に落ちて不安だった」と振り返った。

分科会の司会を務めた高知盲ろう者友の会の高橋万里さん(65)は分科会後の取材で、障害者雇用水増し問題を批判。「働きたいと思っている障害者は多い。行政は就労しやすい環境づくりを率先すべき」と強く求めた。開大会は8月31日から開かれており、最終日となるきょう2日は、二つの分科会などを通して議論を深める。

◇盲ろう者 視覚と聴覚の重複障害者。全国盲ろう者協会 2012年度の調査では、全国に少なくとも1万4千人いることが確認されている。見え方や聞こえ方の程度により「全盲ろう」「弱視ろう」「弱聴ろう」「弱視聴ろう」の四つのタイプに分けられる。

風船型白杖 開発者の吉田勇さんです



吉田さんは、全盲の視覚障害者です。緊急、非常時に便利なバルーン式の簡易型白杖を考案され、特許も取得されています。左手に持たれているのが風船型の白杖で、右手は新しく考案されたSOSのサイン発信用のサインボタンです。

すでに、多くのメディアにも取り上げられ、各地からお声がかかれれば出向き、講演もされているようです。コンパクトに折り畳めて持ち運びも楽々、超軽量です。空気を入れるのも簡単！抜くのも簡単！

サンプル商品をいただいていたので、お見せできます。是非 興味のある方は、渡辺までお知らせください。災害時など、避難所があれば安心できるのではないのでしょうか

出典元:YAHOO! ニュース 関東地域 千葉日報オンラインより
<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20180902-00010000-chibatopi-112>



友の会通信について

広報部 渡辺 美香

友の会通信掲載のために、いつも写真や原稿等のご協力をいただき、誠にありがとうございます。担当して3回目の通信を無事発行することができましたのも、皆様のご理解・ご協力のおかげと心から感謝しております。

前号より写真の説明書きは、省いておりますが、ご不便を感じておられる方はいらっしゃいませんか？ ホームページのテキスト版には写真説明を入れさせていただきますので、どうぞ そちらもご覧ください。

また、テキスト版の印刷送付や、点字版をご希望の方がいらっしゃいましたら下記アドレス または事務局までご連絡ください。

友の会では通信費の削減に取り組んでおります。

スマホやパソコンなどで、友の会通信をご覧いただける方がいらっしゃいましたら下記メールアドレス 渡辺まで ご連絡いただければ幸いです。

よろしくお願い致します m(_)_m



mika.w.06.30@gmail.com



お問い合わせ・連絡先(事務局)

〒780-0815 高知市二葉町 13-17
TEL/FAX 088-884-3794 (浪越)

〒782-0032
香美市土佐山田町西本町 5-6-6
TEL 080-6504-2562 (窪田)

高知県盲ろう者友の会ホームページ

高知県盲ろう者友の会

右記QRコードからも
ご覧いただけます



<https://kochikendb.jimdo.com/>

◇◇編集後記◇◇

広報部 徳久 和恵

空気の乾燥が気になる季節です。インフルエンザにご注意を！

室内の保湿と予防を心がけましょう。帰宅後は、手洗い、うがいを習慣にしましょう。石鹸を泡立てて、指の間や爪、手首まで丁寧に洗いましょう。マスクの着用は防御と保湿に役立ちます。マスクは一度外したら捨てましょう。再利用はダメです。

ワクチン接種（任意）も、有効です。接種後2週間から約5ヶ月位効果が持続します。近年はA、B数種混合だそうです。毎年、流行のタイプを予測して製造され、かかっても重症化防止出来ると言われています。

それから、こまめに水分もとりましょう。水分補給で口内洗浄され、ウイルスが胃酸で死滅するという説があります。

良い睡眠、バランスの良い栄養、適度な運動で体温を上げ、ストレスを上手く解消して免疫力を保ちましょう。

免疫力 up 食材には・・・

舞茸等のキノコ類、レンコン等の根菜類、お茶カテキン、海藻、オクラ等のネバネバ食材、発酵食品、ヨーグルト、トマト、ブロッコリー、スプラウト、等々沢山あります。たまには、食材を

いっぱい入れてキムチ鍋で温まるのはいかがでしょうか。



冬はやっぱり
こたつでミカン
最高ですね！



人物イラスト

渡辺 優香
(弱視ろう)

